

2025年11月25日 七五三

## 感謝と喜びと祈りを共に 主任司祭 ビジュ・キシヤケール

12月21日は南山教会75周年記念ミサを予定しています。この1年間私たちはこの記念の日に向けて、さまざまな行事を計画し、たくさん祈りをしてきました。特に、7月には出身司教である松浦司教様、9月には成井司教様の講演会、10月には75周年記念バザー、11月には75周年パイプオルガンコンサートなどが執り行われました。また、9月に有志の方々の神言修道会創立者の故郷、修道会設立当時の本部（ドイツ、オランダ）教皇レオ14世の謁見などを行い、修道会ローマ本部での150周年共同体のために祈りそして、今まで教会のために貢献してくださった、司祭、信徒のことを思い、これからも教会が多くの人々の信仰の拠り所でありまうように祈ってきました。また、信徒同士が互いに親睦を深め合いながら、お互いに多くの方と知り合い、信仰を深める喜びを分かち合っていただいたいと思ひながら、ミサ時間や行事などの形式に多少の変更もありました。全てが今まで培った信仰を共同体の中で、さらに豊かなものにすることを考え、評議会で確認しながら信徒の皆さんお一人一人の協力のもとで行うことができました。この1年間で信徒からいただいた協力を元にさらに76年目からは、子どもたちを初め様々な年代の方々が、国と文化を超えてお互いに協力しあう普遍的（カトリック）な共同体を目指しましょう。このたび、12月21日は名古屋教区長、松浦悟朗司教様の司式のもとで記念ミサを執り行います。共同司式として駐日ローマ教皇大使 エスカランテ モリーナ大司教様と新潟教区長 成井大介司教様が同席してください。そのほか、歴代の主任司祭、助任司祭、教会とゆかりのある司祭の共同司式のミサとなります。当日、共同体がひとつになり全員で75周年記念するためミサは9時30分だけになりますので、ぜひ、このミサに参加して感謝と喜び、そしてこれからの教会のために祈りましょう。当日のミサの中では皆様からの「教会に対する75周年感謝と喜び、100周年に向けての希望」メッセージを貼った信徒の皆さんで作った作品を奉納する予定です。ミサ後には信徒の皆様にはプレセント、そしてマリヤ館で茶話会も予定しています。司教団、司祭、信徒との45分程度の茶話会にも是非出席して、共にこの75周年を記念しましょう。

### 平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時  
第4土曜日 午前10時30分 子供のミサ(ナザレ館)  
火曜日 午後7時  
金曜日 午前10時  
ゆるしの秘跡は各主日ミサ前に受けることができます。

### 主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時（ミサ前、4時半 聖体賛美式）  
日曜日 午前8時・10時・午後6時  
Sunday Mass in English 9:30 am  
(in the Marian Hall)  
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後2時

## 巡礼記（10月②）

大川 隆

### ○福岡カテドラル大名町教会

（10月4日）

福岡市街中心地の天神に位置する福岡カテドラル大名町教会

は勝利の聖母に捧げられた教会です。祭壇は建物の角に据えられた形になっており、扇のかなり部分に司教座が据えられています。美しいステンドグラスの光の中で祈りました。司教館と教区事務所は、福岡雙葉高校の向かいの浄水通教会にあります。

い教会として名古屋教区発祥の記念聖堂となっています。こじんまりとした古き良き時代の暖かみのある聖堂で、布池教会が設立されるまでは名古屋知牧区長座教会でした。

### ○名古屋教区輪島教会

（10月24日）

能登半島地震で全壊し、同じ場所に再建され9月に献堂式が行われた輪島教会を訪ねました。名古屋からは遠く7時間ほどかかりました。輪島教会は巡回教会なので予め訪問日時を伝えて、幼稚園の先生に聖堂を開けていただきました。新聖堂の聖櫃と十字架の道行のレリーフは、東京大司教区で西千葉教会に統合された旧千葉寺教会で使われていたもので、新たな地で活かされているそうです。新しい香りのする聖堂で、能登の復興を祈りました。

### ○名古屋教区大垣教会

（10月31日）

大垣教会は、名古屋教区から聖心布教会に委託され、被昇天の聖母に捧げられた教会です。信徒の約80%は外国の人たちで、日曜日の朝は日本語を中心

としたインターナショナルミサ、午後はタガログ語、ベトナム語、ポルトガル語、英語、スペイン語のミサが交替で行われている国際色豊かな教会です。



ワンポイントひらめき  
「私をお使いください」

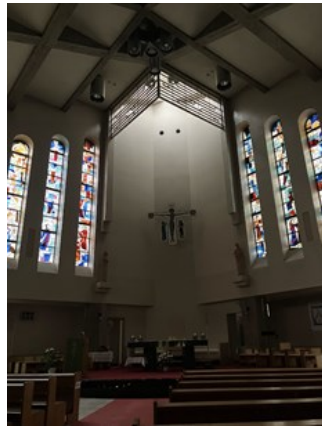
秋元恭子

神様は隣人への愛のために私たちをお使いになります。私の場合、神様に向かつて中々、堂々とこれが言えない自分がいきました。働くことになったら、自信や力がない。年齢的にも又出来そうにもないことを望まれたら大変！断れない、等恐れに囚われてしまいます。しかしそこで自分で思い込むのはやめましょう。私たちが思い切つて「この私でよければ、お使いください」と開かれた心で主に申

し上げることによって、主は私にピッタリなことに用いてくださいます。ひよっとしたら主は誰かをあなたのところに遣わし、あなたにしかできない言葉をかけてあげてくれることを望んでおられるかも知れないのです。そして自分でもびっくりするほど実りを味わうことになります。大きなこと小さなことは問題ではありません。年齢や能力は関係ありません。神様はあなたをお使いになりたいくださうずうずしておられるのです。あなたが予想もしていないことかもしれないで、恐れ

れないで

「私をお使いください」と堂々と神様に申し上げましょう。神様を信頼するほどにこのことが簡単になっていきます。あの方は、わたしの弱さも小ささもすべてご存知だから、私のできないことではなく、できることにお使いになるから大丈夫だと。そして委ねて「どうぞ私をお使いください」と喜んで自分を差し出しましょう。♪主よわたしのこの手を、足を、口をお使いください♪



### ○名古屋教区主税町記念聖堂

（10月13日）

主税町教会は、現在は小教区としては使われていませんが、100年以上も経つ名古屋で最も古

## 典礼一口メモ

### 香部屋の窓から 第87回

#### 「ばら色と空色(青)」のお話

典礼委員長 新内飛鳥

前回までの記事で典礼色について書きましたが、今回はその中でばら色と青色をピックアップしてお伝えしようと思います。ミサやほかの典礼で使われる色は緑色、紫色、白色の出番が多く所々に赤色が使われるというのが印象です。今日紹介する色は限られた日の典礼にしか使いません。ばら色と呼ぶには色が明るくピンクに近いのですが、あくまで主観ですがピンクと呼んでしまうとなんだか軽い感じがするので敢えてばら色と呼ばせていただきます。桃色や桜色も含めます。待降節と四旬節は紫色で過ごすのですが待降節の第3主日と四旬節の第4主日に限りばら色を使います。喜びの色と呼ばれます。紫色は私たちの贖いや回心、節制、待つことを表します。待降節は主の降誕をひたすら待ち望み慎み深く過ごします。四旬節は主の復活で頂点を迎える聖週間を準備する時期として謙虚な心で過ごします。その心の在り様を表す色が紫色です。待降節の第3主日はガウデーテ(喜びなさい)と招かれていることから「喜びの主日」とも呼ばれ、アドベントク

ランツの4本のろうそくの3本目に火が灯されます。約4週をかけたの主な降誕に向かう準備も、あと一息というところへ到達し教会は喜びに包まれます。このアドベントクランツも近年の文化では1、2、4本目を紫色のろうそくで、ガウデーテに当たる3本目をばら色のろうそくで準備する小教区も増えています。四旬節の第4主日はレターレ(歓喜なさい)と招かれ、これは贖いの時期として過ごしている四旬節がいよいよ聖週間という荘厳な時を迎えるにあたっての大きな喜びを「バラの主日」として迎えます。第一朗読のイザヤ書では「荒れ野よ、荒れ地よ、喜び躍れ、砂漠よ、喜び、花を咲かせよ」と朗読されます。この花がバラなのかどうかはよく解りませんがそう理解すると解り易いのもかもしれません。

さて空色(青)ですが、天の色と呼ばれマリア様のシンボルカラーの青です。マリア様の澄み切った広い心が青空を思い起こさせるからでしょう。そのため神の母マリア、聖母の被昇天など聖母に関する祝日に使うことが出来る典礼色です。

#### “無原罪の聖マリア”についてのワンポイント

川原 稔

#### ●神の計画におけるマリア

無原罪の聖マリア(12月8日)とは、聖母マリアが受精の瞬間から原罪を免れ、神の特別な恵みによつて清められていたとするカトリック教会の確固たる教義である。創世記に語られる「救い主を送る」という神の約束は、人類を罪から解放するための救いの計画であった。その中心に選ばれたのが、御子イエス・キリストの母となるマリアであり、神はその計画の初めからマリアを特別に準備されたのである。

#### ■教会の教えと要理に基づく理解

カトリック要理や公会議の伝統は、マリアが「恵みに満ちた方」と呼ばれる(ルカ1、28)根拠を、まさに無原罪の特恩として受けとめてきた。マリアは教会の母であり、信仰者にとって模範であるが、同時に他の人間と同じように神の救いが必要とする存在でもある。しかし、マリアはキリストの救いの功績を前もって適用され、受精の瞬間に原罪の影響から守られたと教会は教える。これは神の自由な恵みであり、またマリアの使命、すなわち御子を世に迎えるための準備として理解される。

#### ■マリアの無原罪が示す救いの光

マリアが無原罪であることは、

単なる特権の強調ではなく、神が救いの業をどれほど真剣に、愛をもって始められたかを示す標識である。マリアの純潔と自由は、私たちが本来呼ばれている姿、すなわち神に似せて創られた者の“あるべき姿”を示す光であり、十戒と教会の戒めが求める“神を愛し、隣人を愛する生活”の実現可能性を示すものである。また、秘跡、とくに洗礼が私たちから原罪を取り除くことと比較する時、マリアの無原罪は救いの恵みの源であるキリストに私たちを結びつける希望のしるしとなる。

#### ★マリアに倣い、恵みに応える歩み

無原罪の聖マリアを崇敬することは、彼女だけを称えるためではなく、神の恵みが人間の歴史の中で具体的に働くことを思い起こすためである。教会法や典礼が無原罪のマリアの祭日を大切に祝うのは、信者がその信仰の核心を新たにかみしめ、神の恵みにより深く応えるためである。マリアの清い心と従順は、すべての信者をキリストへ導く道しるべであり、私たちもまた日々の祈り、秘跡、そして愛の実践によつて、神の恵みに応えて歩むよう招かれている。無原罪の聖マリアを仰ぎながら、私たちも神の光を映し出す器となる。



11月8日・9日 トラン師・ニャット師 初ミサ



ドニー師 霊名のお祝い

鐘メンテナンス





11月8日 75周年記念パイプオルガンコンサート



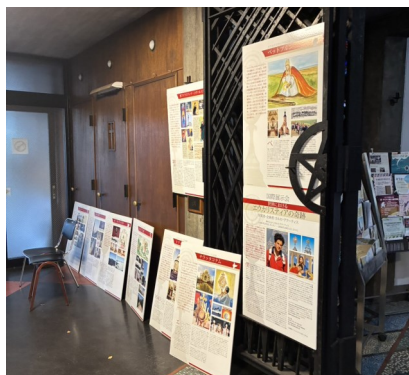
11月23日 避難訓練

百合とチューリップの球根植え



七五三のお祝い ミニ縁日

馬小屋作り



ご聖体の奇跡国際展示会 目黒教会

パンジーで描いた75周年

司祭団より

12月7日

12月21日9時30分の75周年ミサに向けて今まで準備してきました。司教様方もお越しになりました。茶話会も計画しています。牧野が池ブリーズバンドの演奏もあります。

報告・連絡事項

1. 12・1月予定確認(信徒代表)

別紙のとおり。

12月7日神言神学院によるミサ9時30分・評議会、12月14日教会周辺清掃、12月21日75周年記念ミサ・堅信式、12月24日17時と19時に主の降誕前夜のミサ、12月25日10時に主の降誕ミサ、12月31日10時に年末感謝ミサ、1月1日10時新年平和ミサ・20歳のお祝い、1月4日評議会、1月中旬に75周年記念誌発行

2. バザー収支計算書(財務委員長)

バザーの収支について配布資料を元に説明がありました。大聖堂玄関の掲示板にも掲載予定。

3. 75周年記念パイプオルガンコンサートについて(オルガン管理委員会)

11月8日(土)13時開場、13時30

分開演、15時30分終了。オルガン奏者を指導してくださっている椎名雄一郎氏による演奏。マリア会が受付、ヨセフ会案内、要約筆記の会がスクリーンに演目を投映。好評だった。

4. トラン新司祭・ニヤット新司祭の初ミサとそのお祝いについて(主任司祭・信徒代表)

11月8日17時と9日9時半のミサを初ミサとした。大勢の信徒が祝福を受け、新司祭の門出のお祝いをした。

少し緊張していたようでしたが、全体的にとても良く進行しました。

5. 教会の設備について(営繕委員会)

皆さんが安全に掃除しやすいように、コードレス掃除機を準備し、聖堂、小聖堂、香部屋、ホール、マリア館などにそれぞれ設置する。(コードレス掃除機を購入しました)

・司祭館にあった倉庫が教会側面に移設されました。

・掃除用具の設置について

教会側面の倉庫に竹箒などの掃除用具を移動しました。

・大聖堂屋根からの縦樋(たてどい)設置と大屋根のメンテナンスについて信盛建設に依頼し、現在行っている。

・クリスマスイルミネーション飾りを信盛建設に依頼し、完了した

・マリア館2F女子トイレ扉、聖堂側面の女子トイレ鍵の修理を安井営繕委員の奉仕にて完了した。

・マリア館倉庫の雨漏り対策はマリア館空調設備の室外機周辺に水が溜まっている状態を除き、様子を見ている。

・植栽について、皆さんに百合とチューリップの球根を植えていた

また司祭団と桜木営繕委員の奉仕にて大聖堂正門前に花文字(南山)が作成された。

・鐘樓の修理について、再度不備が生じたが、業者に依頼することなく長谷川さんの奉仕により応急的に修繕された。再度不備が生じた場合、業者への依頼が必要になる可能性がある。

・結婚式控室、小聖堂のガス配管設備について、老朽化により部品交換が必要となり業者に依頼した。

・大聖堂大規模修繕について  
先日、教会美化の時の倉庫整理にて、以前業者により制定された大規模修繕の計画書が見つかりました。その内容を建築関係の事に詳しい、戸野部さんに精査していただき以下のご意見をいただきました。

・大聖堂大規模修繕について

結果、様々な考え方があつたため過去に遡ると建物の管理計画や調査などがしっかりと引き継がれていないのが数十年現実となつてきた事実があります。

予算面から考えても稼働率の高い通常の建築物と同じように管理するのには無理があります。

なので、躯体を長持ちさせるための大聖堂の窓枠、防水・塗装だけについては、財務委員や専門家の意見を参考に協議を継続する必要があります。

それ以外は、従来通り対症療法的な対応で良いと考えます。

6. 平日のゆるしの秘蹟の時間について(主任司祭)

毎週ミサの30分前から告解を受けられるようにしています。

それ以外に、12月22日(月)10時、12月23日(火)10時、12月24日(水)10時、12月25日(木)10時、12月26日(金)10時、12月27日(土)10時、12月28日(日)10時に受けることができます。

11月8日(土)13時開場、13時30

11月8日(土)13時開場、13時30

11月8日(土)13時開場、13時30

11月8日(土)13時開場、13時30

11月8日(土)13時開場、13時30

11月8日(土)13時開場、13時30

11月8日(土)13時開場、13時30

11月8日(土)13時開場、13時30

11月8日(土)13時開場、13時30

11月8日(土)13時開場、13時30

11月8日(土)13時開場、13時30

## 審議・相談事項

1. 75周年記念ミサについて(主任司祭・信徒代表・典礼委員長・マリア会)

12月21日(日)9時30分から松浦司教の司式による多言語ミサを行う。

前日の土曜日は4時30分から5時30分の聖体賛美式を行い、前半の祈りと黙想をして21日に備える。

ミサ後の祝賀会は、(準備負担軽減、収容人数確保のため、時間短縮などを考慮して)ミサに参加された全員に袋詰めのお菓子をわたします。

また、皆さんで親睦の時間を取る方が手間と負担が減り、また、多くの方が親睦を深められるように、従来の慣れた方法で軽食と飲み物をマリア会が準備します。あくまで親睦や分かち合いを重視します。

お菓子や記念品を袋詰めしたものは、司祭団がご準備してください。祝賀会はマリア館ホールで行います。そこに、司祭、司教との話などできますし、また他の信者同士で話することができるようだと思います。

牧野が池ブリーズバンドは拝領祈願後の「お祝い」の最後にお知らせの中として教会の2階で行う

方がスムーズです。12月3日に神戸さんと確認しました(10分程度で、3曲の予定)

2. 来年度信徒代表の選出について(信徒代表)

今年度で、現信徒代表の任期が満了する。1月の評議会までにヨセフ会とマリア会から信徒代表の推薦者を出してほしい。

※評議会規約第5条(1)信徒代表の選出には、ヨセフ会、マリア会から信徒代表の任期満了の3ヶ月前までに各1名推薦し、本会にて検討する。信徒代表の任期満了の3月に、本会の議を経て、主任司祭が任命する。その任期は2年とする。再任を妨げない。但し、その任期は、最長4年を限度とする。信徒代表に任命された者は、各種団体の代表を兼務することとは出来ない。

3. 納骨堂管理規程の修正について(納骨堂管理委員会)

御遺骨の収蔵希望日時については、主任司祭ではなく、教会事務に申し出ることとする。また、御遺骨収蔵の担当司祭はカトリック南山教会の司祭とし、必要に応じて他教会の司祭と共同司式ができるようにする。

修正内容については別紙にて詳細な説明がなされて承認されました。

4. 大聖堂やトイレなどを毎月、皆で掃除する日を設ける件(司祭団、営繕委員会)

また、世代を超えて多くの方々に参加していただくためにこれから大聖堂やトイレなどを毎月みんなで掃除する日を設ける方向を探りたい。

今後、評議会で決めていきます。

5. 来年度予算について(財務委員長)

予算申請は、クリスマスまでに財務委員長宛にメール送信か直接口頭で行う。申請が無い場合、予算を計上しない。

6. その他

神学院の為の献金ありがとうございます。

75周年の為の献金もあります。が、教会のためですのでお願いいたします。

来賓への配布と売店での販売のために記念のボールペンを作成します。

クリスマスと75周年ミサの駐車場の案内等についてはヨセフ会の班長会議で話し合います。

大人数のミサの際は丸いすを使わずになるべく詰めて座っていたようにします。

## オルガン管理委員会

11月8日の75周年記念パイプオルガンコンサートが無事終了いたしました。

1年前より、オルガニスト全員で準備を進め、また、ビジュ神父様、教会の皆様からのご協力を得て、椎名雄一郎氏の演奏を多くの方々に聴いていただくことができました。当日の参加者は二百名ほどでした。大聖堂入口に献金箱を置きましたが、8,943.2円の献金がありました。

## 要約筆記の会

要約筆記つきのミサ  
12月24日(水) 17時  
12月27日(土) 17時

典礼奉仕者の会

12月7日の神言神学院ミサの奉納を神言神学院と南山教会で一緒に担当しました。

## 広報委員会

聖カルロアークレイスが始めたご聖体の奇跡パネル展示会を東京・目黒教会にて開催した。

## 教会学校

七五三ミサで6名のお子様を祝福した。その後、ナザレ館で、射的、投げ輪、スーパースポールすくい、千本引きなどのミニ縁日でお祝いした。

## 各会報告

次回 1月4日



年末年始ミサのお知らせ



12月24日 17時、19時  
主の降誕前夜のミサ

12月25日 10時  
主の降誕のミサ  
(7時のミサは無し)

12月29日  
(7時のミサは無し)

12月30日  
(19時のミサは無し)

12月31日 10時  
年末感謝ミサ  
(7時のミサは無し)

1月1日 10時  
神の母聖マリア  
新年平和ミサ

信者の消息

結婚

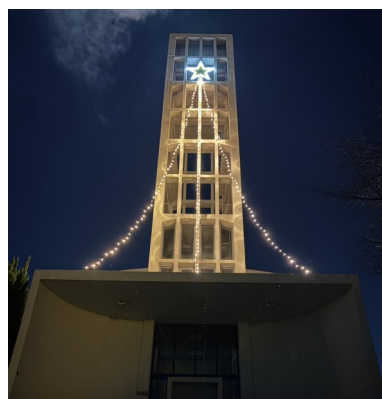
□お幸せに□

レオ 藤田 武斉 ♥ 三井 瞳

帰天

神の栄光にあずかれますように

アッシジのフランチェスコ 吉田 英雄 (78歳)  
ゲルトルージュス 斉藤 延枝 (83歳)  
ヨハネ 伊藤 宗太郎 (97歳)



2025年イルミネーション

2025年12月・2026年1月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
12月	8(月)無原罪の聖マリア 25(木)主の降誕 28(日)聖家族	21(日)75周年記念ミサ 9:30 24(水)主の降誕の前夜ミサ 17:00 (要約筆記付き) 19:00 (多言語ミサ) 25(木)主の降誕ミサ 10:00 31(水)年末感謝ミサ 10:00	5(金)マリア会例会(懇談会) 6(土)典礼委員会 7(日)小教区宣教司牧評議会 14(日)教会学校クリスマス劇 14(日)ヨセフ会班長会 (土)要約筆記付きミサ 20(土)子ども部屋クリスマス会 中高生会クリスマス会・	7(日)宣教地召命促進の日(献金) 20(土)レジオマリエ名古屋クリア
1月	1(木)神の母聖マリア・世界平和祈願日 4(日)主の公現 11(日)主の洗礼	1(木)10:00新年平和ミサ・成人式 管区に予算書提出	(土)典礼委員会 4(日)小教区宣教司牧評議会、 11(日)教会学校・中高生会始業式 16(金)マリア会新年会 土)子ども部屋 土)要約筆記付きミサ 18(日)ヨセフ会新年会	1(木)世界平和の日 17(土)レジオマリエ名古屋クリア 18(日)～25(日)キリスト教一致祈祷週間 18(日)新成人を祝う新年の集い 25(日)世界こども助け合いの日(献金)